

ITbookホールディングスグループ

作業員の負担軽減を可能としたSWS試験用貫入ロッドの特許を取得

当社グループの株式会社サムシング（本社：東京都江東区、代表取締役会長：前 俊守、以下「サムシング」）と鉄事業を営む株式会社アステック入江（本社：福岡県北九州市、代表取締役社長 入江 伸一郎、以下「アステック入江」）は、戸建住宅の地盤調査でもっとも普及しているスクリーウエイト貫入試験（以下「SWS試験」）に用いられる「貫入ロッド」を新たに開発し特許を取得しましたので、お知らせいたします。

SWS試験は1976年にJIS規格（日本工業規格）において、原位置における土の硬軟又は締まり具合および土層の構成を判定するための静的貫入抵抗を求める試験方法※です。

地盤調査改良事業を営むサムシングにおいて、主として戸建住宅の地盤調査にこのSWS試験を用いております。

SWS試験に必要な物の一つとして「貫入ロッド」があります。貫入ロッドは鋼材でできており、SWS試験の地中貫入度合いにより都度繋ぎ合わせて延長を行っております。その際、地盤の締まり具合により、繋ぎ目が強固に締め付けられる場合があります。ロッドの変形による破損や容易に着脱できないなど、調査員の負担となっておりました。サムシングおよびアステック入江は調査員の負担軽減を目的に、貫入ロッドの繋ぎ目であるネジ部の形状を研究・開発・試験を繰り返し、従来の形状に比べ着脱・締め付け効率を高めることに成功しました。そしてこの度、本技術は特許庁に認められ、新技術として特許を取得しております。

新技術を用いた貫入ロッドは当社グループの株式会社GIR・ジオサイン株式会社、そして杭および地盤補強工法の設計等を行っている一般社団法人 先端地盤技術グループで販売を開始しております。

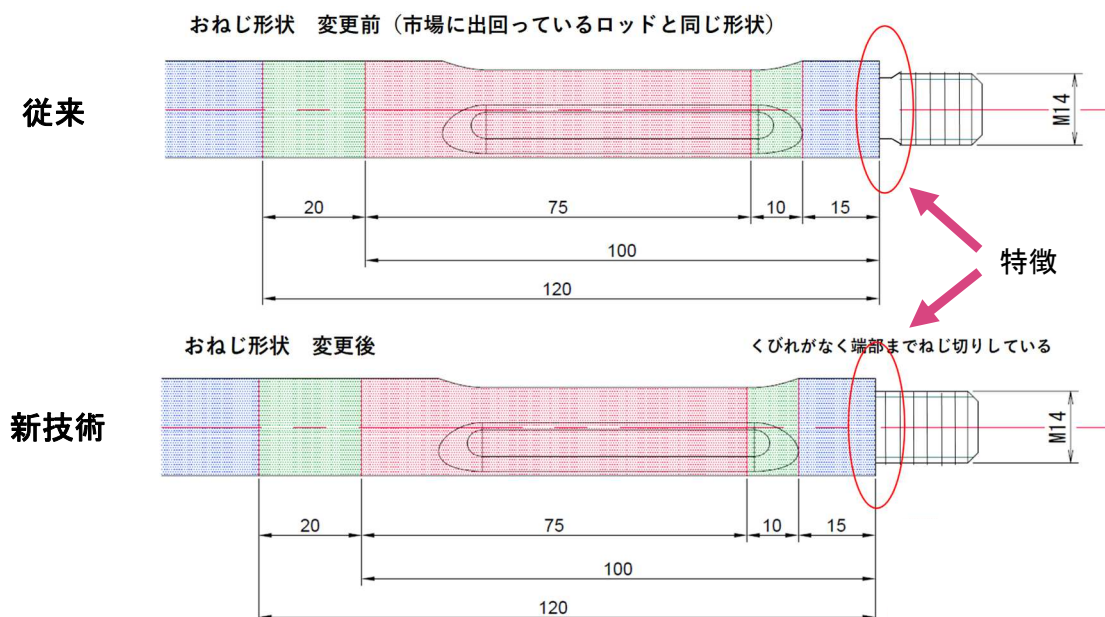
当社グループは、当社グループが保有する技術力・ノウハウ・経験等を活用し、現場作業の負担軽減や安全性の向上に繋がる技術開発・研究を進めてまいります。

※SWS試験（旧 スウェーデン式サウンディング試験）の方法と結果（サムシングHPをご参照ください。）

https://www.s-thing.co.jp/jiban_chosa/chosa_hoho/houhou_kekka/

【従来製品に比べての特徴】

- ・おねじが曲がりや折れに強い
- ・軟弱層の貫入時でもつなぎ目が緩みにくい
- ・締め固まったとしても着脱が容易



【本プレスリリースに関する問い合わせ】

ITbookホールディングス株式会社 URL: <https://www.itbook-hd.co.jp/> IR担当: 森島・山本

Tel. 03-6770-9970 Fax. 03-4363-1154